公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
Tokyo Ice Hockey Federation

2026 年 10 月 7 日
公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
女子委員会

第 46 回全日本女子アイスホッケー選手権大会 C グループ関東ブロック予選会
大会要項 V1.0

1	**大会名称**	第 46 回全日本女子アイスホッケー選手権大会 C グループ 関東ブロック予選会 当予選会の 1 位チームに第 46 回全日本女子アイスホッケー選手権大会C グループへの出場権を与える。
2	**主催**	公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
3	**期間**	2026 年 12 月 5 日（土）～12 月 20 日（日）
4	**会場**	ダイドードリンコアイスアリーナ 〒202-0021　東京都西東京市東伏見 3-1-25　Tel: 042-467-7171
5	**大会事務局**	公益財団法人東京都アイスホッケー連盟 〒202-0021　　東京都西東京市東伏見 3-1-25 Tel: 042-467-8282　Fax: 042-468-2131　E-mail: tihf@tihf.gr.jp
6	**参加チーム**	H．C．日光アイスバックスレディース、日本体育大学、神奈川県予選1位チーム
7	**参加資格**	1）　選手およびスタッフは、本予選会参加都県連盟所属の女子チームへ登録し、公益財団法人日本アイスホッケー連盟に登録している。 2）　高校生以下の選手については各チームで保護者の承諾を得る。 3）　日本国籍を持たない者の参加は 1 チーム 3 名までとする。
8	**組合せ**	別紙参照
9	**選手登録**	大会参加申込み期限**[2026 年 10 月 30 日（金）]**までに登録が完了していること。
10	**代表者会議**	実施しない。必要事項については、E-mail、オンラインで協議・確認する。
11	**参加申込み**	1）　**2026 年 10 月 30 日（金）までに** 指定の参加申込書（Excel）を女子委員会および事務局宛に E-mail にて送付する。 ＊Excel ファイル、押印省略可。PDF に変換しないこと。 代表が決定していない県は、決定後速やかに提出する。 **2）　2026 年 11 月 20 日（金）までに** (1)上記 1）の参加申込書を印刷、押印（所属連盟の押印含む）し、事務局宛に郵送する。 以下（2）を女子委員会および事務局宛に E-mail にて送付する。

(2)**2026 年 11 月 20 日（金）までに**

スポーツ傷害保険加入証書の写し（PDF、加入者明細の添付必須。）

11　**大会費**　　130,000 円

内訳）

大会参加費	20,000 円
試合費	110,000 円
計	130,000 円

12　**振込み期限**　　**2026 年 11 月 30 日（月）**

13　**振込先**

銀行名：　東京三協信用金庫　東伏見支店　（店番号 016）

口座名：　公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

ザイ）トウキョウトアイスホッケーレンメイ

口座番号：　0104277

預金種目：　普通預金

※振込みの際は、振込人名義に必ず「チーム名」をつけてください。

14　試合映像撮影・配信

- 本大会では、試合の映像撮影およびその映像配信を行うことがある。 本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は、本大会参加中の肖像の管理を（公財）東京都アイスホッケー連盟に委ねることに本大会参加をもって承諾したこととする。
- AI カメラ（（公財）日本アイスホッケー連盟）による動画配信について： 本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利 （公衆送信権）は、（公財）日本アイスホッケー連盟に帰属することとし、公衆送信権を （公財）東京都アイスホッケー連盟に許諾することがある。

15　個人情報の取り扱い

- 個人情報を含む競技結果（記録）、所属と個人を識別するために必　要な情報、および写真・映像は、次の方法等で公表することがある。大会申込書が提出された時点で、本取り扱いに承諾を得たものとする。
  - 当連盟ウェブサイト・SNS 等への掲載
  - 大会プログラムへの掲載
  - 会場内外の掲示、場内アナウンスによる紹介等
  - 報道機関への提供
  - 当連盟報告書等への掲載
- 感染症等、社会的の影響による日程変更・対戦方式の変更・特別な条項が追加される可能性があることをご承知おきください。

16　問い合わせ先・連絡先

公財）東京都アイスホッケー連盟女子委員会

（電話番号、E-mail アドレスは別途お知らせします）

競技要項

17　競技方法・競技時間

- 1 回戦総当たりのリーグ戦で行う。
- 全試合正味 15 分（ストップタイム）×3 ピリオドで行う。
- 練習・インターミッションは各 5 分とする。
  （整氷→練習→P1→インターミッション→P2→インターミッション→P3）
- ホーム・ビジター制度を適用する。仮ホームチーム（対戦表の左側）は、本部席から向かって左側のベンチに入る。
  試合前のパックトスにより、ホームチーム、ビジターチームを決定する。
- 10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降、ランニングタイムとする。
  1)　差が縮まった場合でも継続する。
  2)　次の場合は時計を止めるものとする。
    a)　得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
    b)　反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
    c)　レフェリーからの指示があったときに時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
    d)　タイムアウト時、時計を止める。タイムアウト終了後直ちにスタートさせる。
  3)　反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。
- 1 試合につき、両チームそれぞれ 1 回のタイムアウト（30 秒）を取ることができる。
- 同点の場合
  第 3 ピリオド終了時、同点の場合、直ちに 3 名ずつのペナルティ・ショット・シュートアウト（以下 PSS）により勝敗を決定する。このとき、各チームのゴールキーパーは第 3 ピリオドと同じサイドを守る。ただし、レフェリーが氷面を確認し、両サイドを利用することがどちらかのチームに不利になると判断した場合には、レフェリーが使用するサイドを決定する。さらに同点の場合はサドンデス方式による 1 名ずつの PSS により勝敗を決定する。
  ＊PSS の先攻・後攻の選択権は、パックトスにおいて決定する。
- チームが試合を棄権した時点で、当該チームは関東ブロック代表選考の対象から除外する。

18　順位決定方法

勝ち点制とする。勝ち点は以下の通りとする。

レギュレーション タイム勝ち	PSS 勝ち	PSS 負け	レギュレーション タイム負け
3	2	1	0

- 2 チーム以上の勝ち点が同数の場合は、以下の順に順位を決定する。
  1) 当該チーム間の試合で得た得点数が多いチームを上位とする。
  2) 当該チーム間の試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする（得失点差）。

3) 当該チーム間の試合の総得点が大きいチームを上位とする（得点差）。
4) 全試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする（得失点差）。
5) 全試合の総得点数が大きいチームを上位とする（得点差）。
6) 抽選で決定する。

19 競技規則

- 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則（第 20 項）を除いて、原則として国際競技規則、および、公益財団法人日本アイスホッケー連盟が定める規則によるものとする。
  ただし、「第 38 条コーチチャレンジ」は適用しない。

20 補助規則

1) 試合を棄権するチームは速やかに、理由とともに書面（E-mail）にて届出なければならない。試合を棄権した場合、0 対 15 で不戦敗とし、代表選考の対象から除外する。
2) 連盟未登録選手が出場した場合、当該試合は没収試合とし、不戦敗とする。
3) オールメンバー表は、指定のフォームを用い、練習開始 30 分前までにオフィシャルに提出する。
4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。発覚次第、退場とする。
   当該選手がポイント（ゴール・アシスト）をあげても無効とする。
   当該選手がペナルティをおかした場合は、代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。背番号の間違いは発見次第、直ちに修正すること。ポイントは認められ、出場可能とする。
5) 試合実施に必要な最低人数は 6 名（ゴールキーパー1 名とスケーター5 名）とする。試合開始時までに最低人数に満たない場合、当該チームは試合を棄権したものとみなし、不戦敗とする（棄権については 21-1 項を参照）。
   両チームが最低人数に満たない場合は、両チームとも－15 点とし、両チームが不戦敗とする。
6) ベンチ入り選手は 22 名以内（うちゴールキーパーは 2 名以内）とする。スタッフは1名以上 6 名以内とする。
7) オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
8) 選手は、統一したユニフォームとストッキングを着用し、ヘルメットとパンツは同色を着用しなければならない。
9) プレーヤーは、顔全面を覆うフルフェイスマスクの付いたヘルメット、ネックガード、マウスガードを着用しなければならない。
   ヘルメットは、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは、指 1 本分のみとする。
10) ゴールキーパーは、ネックガード、および、パックおよびスティックが貫通しないマスクを着用しなければならない。

11) ユニフォームは完全にパンツの外側に着用し、タイダウンストラップで常にパンツに適切に固定しなければならない。
12) 原則として頭髪はヘルメットの中に収めるものとする。ヘルメットに収まらない場合は、背番号にかからないように結ぶか、まとめること。
13) 「お守り」をつける場合は、パンツ等の中に縫い付けて着用する。防具等の外につけることはできない。
14) 危険防止のため、ベンチ入りする選手は試合中、フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する。
15) ペナルティベンチ内ではヘルメットを着用し、出場 30 秒前まではベンチに座っていること。味方への応援を含む一切の私語を禁止する（上記については、レフェリー以外が別途処分を科すことがある）。
16) 試合には、当連盟レフェリー委員会より、レフェリー1 名、ラインズパーソン 2 名を派遣する。
17) ビデオサポートシステムを採用する（ゴール裏のカメラ 1 台）。ただし、コーチチャレンジは採用しない。チームからのアピールで確認することはない。
19）試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。

21 キャンセル規定

1）申込み締切り後、棄権を申し出るチームは速やかに、その理由をそえて通知すると同時に不参加料 130,000 円を納金する。（参加費の振込みが完了している場合は、参加費を不参加料とみなす。）
2）事前の棄権通知を怠り、かつ、不参加料を納金しないチームは、今後、関東ブロック予選会への参加を認めない。期限については関東地区連絡協議会にて協議の上、決定する。

22 保険の加入

- 大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険等に加入しておく。（保険証書の PDF を提出する。大会要項 11 項を参照）。
- 選手・スタッフ等の移動を含む本大会に係る事故、負傷、盗難等について、本連盟は責任を負わないので、各チームが責任を持って予め対処する。

23 試合中の負傷・傷害

- 試合中に選手が負傷した場合、応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。
- 選手の負傷について、チームは「傷病報告書」にて公財）東京都アイスホッケー連盟に届ける。

24 感染症等対応のルール

1) チーム内に感染症等の陽性者、体調不良者がいた場合は、医療機関、保健所、自治体等の指示に従い活動を自粛する。

2) 施設利用上の注意

- 試合後、ベンチ内や更衣室にゴミ(ドリンクのボトルや使用済みのティッシュ等)を放置しない。忘れ物がないか確認する。ゴミは施設内のゴミ箱やリサイクルボックスに、正しく分別して入れる。
- 更衣室のシャワー利用を禁止する。
- その他、施設からの指示・注意事項を守ること。